

令和 5 年 3 月 23 日 農業資材審議会農薬分科会（第 35 回）資料

有効成分ピリダクロメチルを含有する申請農薬の使用方法及び薬効・薬害試験結果概要

1. ワイルドカード（ピリダクロメチル 35.0 %水和剤）

(1) 使用方法

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ピリダクロメチルを 含む農薬の 総使用回数
麦類	紅色雪腐病	2,000 倍	60～ 150L/10a	根雪前	2 回以内	散布	2 回以内
だいず	紫斑病	3,000～ 4,000 倍		収穫前日 まで	3 回以内		3 回以内
てんさい	褐斑病	2,000～ 3,000 倍		収穫 7 日 前 まで			
トマト ミニトマト	うどんこ病 葉かび病 すすかび病	3,000 倍		100～ 300L/10a	収穫前日 まで		4 回以内
なす	うどんこ病 すすかび病						
ピーマン	うどんこ病 斑点病						
きゅうり	うどんこ病 つる枯病						
メロン							
すいか							
いちご	うどんこ病 炭疽病						
花き類・観 葉植物（カ ラー、花は すを除く）	うどんこ病		発病初期				

(2) 薬効

① 麦類

薬効・薬害試験の結果、紅色雪腐病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

麦類の紅色雪腐病に対する効果は、小麦の試験で評価した。

表 1-1 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（小麦、紅色雪腐病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
小麦	北海道 H27	紅色雪腐病	少 (接種)	2,000 0.018	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
小麦	北海道 H27	紅色雪腐病	極少 (接種)	2,000 0.018	5 葉期	散布	効果の確認はできなかった。	薬害は認められなかった。
小麦	北海道 H27	紅色雪腐病	少 (接種)	2,000 0.018	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
小麦	北海道 H28	紅色雪腐病	極少 (接種)	2,000 0.018	生育期	散布	効果の確認はできなかった。	薬害は認められなかった。
小麦	北海道 H28	紅色雪腐病	中 (接種)	2,000 0.018	4～6 葉期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
小麦	北海道 H28	紅色雪腐病	中 (接種)	2,000 0.018	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
小麦	北海道 H29	紅色雪腐病	中 (接種)	2,000 0.018	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
小麦	北海道 H29	紅色雪腐病	多 (接種)	2,000 0.018	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

* : 有効成分濃度

② だいず

薬効・薬害試験の結果、紫斑病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-2：ワイルドカードの薬効・薬害試験（だいず、紫斑病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
だいず	岩手 H28	紫斑病	少 (接種)	3,000 0.012	開花 24, 34 日後	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
だいず	福井 H28	紫斑病	少 (接種)	3,000 0.012	開花期 24 日後	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
だいず	京都 H28	紫斑病	中 (接種)	3,000 0.012	開花期 14, 28 日後	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
だいず	岩手 H27	紫斑病	少 (接種)	3,000 0.012	開花 30, 41 日後	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
だいず	岩手 H27	紫斑病	少 (接種)	4,000 0.009	開花 30, 41 日後	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
だいず	宮城 H27	紫斑病	極少 (接種)	3,000 0.012	開花 36, 43 日後	散布	効果の確認はできなかった。	薬害は認められなかった。
だいず	宮城 H27	紫斑病	極少 (接種)	4,000 0.009	開花 36, 43 日後	散布	効果の確認はできなかった。	薬害は認められなかった。
だいず	茨城 H27	紫斑病	中	3,000 0.012	開花期 21, 32 日後	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
だいず	茨城 H27	紫斑病	中	4,000 0.009	開花期 21, 32 日後	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
だいず	京都 H27	紫斑病	少 (接種)	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
だいず	京都 H27	紫斑病	少 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

③ てんさい

薬効・薬害試験の結果、褐斑病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-3 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（てんさい、褐斑病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
てんさい	北海道 H28	褐斑病	多 (接種)	2,000 0.018	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
てんさい	北海道 H28	褐斑病	中	2,000 0.018	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
てんさい	北海道 H28	褐斑病	中	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
てんさい	北海道 H28	褐斑病	甚	2,000 0.018	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
てんさい	北海道 H28	褐斑病	甚	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

④ トマト

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病、葉かび病及びすすかび病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

ミニトマトのうどんこ病、葉かび病及びすすかび病に対する効果は、トマトの試験で評価した。

表 1-4 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（トマト、うどんこ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
トマト	愛知 H29	うどんこ病	中～多 (接種)	3,000 0.012	本葉 10 枚 展葉	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	沖縄 H29	うどんこ病	中 (接種)	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	神奈川 H27	うどんこ病	多	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	愛知 H27	うどんこ病	中 (接種)	4,000 0.009	本葉 10 枚 展葉	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

トマト	京都 H27	うどんこ病	中 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	神奈川 H28	うどんこ病	中	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	愛知 H28	うどんこ病	多 (接種)	4,000 0.009	本葉 10 枚 展葉	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	徳島 H27	うどんこ病	中 (接種)	4,000 0.009	第 2 花房 開花期～ 第 2 花房 果実形成 期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	沖縄 H28	うどんこ病	中 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

表 1-5：ワイルドカードの薬効・薬害試験（トマト、葉かび病）結果概要

作物名	実施 場所 実施 年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
トマト	奈良 H28	葉かび病	中 (接種)	3,000 0.012	収穫期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	高知 H27	葉かび病	多	3,000 0.012	完全展開 複葉 10～ 23 葉	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	高知 H27	葉かび病	多	4,000 0.009	完全展開 複葉 10～ 23 葉	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	千葉 H27	葉かび病	中	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	岐阜 H27	葉かび病	中 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	三重 H27	葉かび病	多 (接種)	4,000 0.009	本葉 7 枚 展開期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	三重 H28	葉かび病	中 (接種)	4,000 0.009	本葉 10 枚 展開期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	宮崎 H28	葉かび病	中 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

表 1-6 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（トマト、すすかび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
トマト	三重 H29	すすかび病	中 (接種)	3,000 0.012	本葉 12 枚 展開期	散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められ なかった。
トマト	奈良 H29	すすかび病	少 (接種)	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められ なかった。
トマト	熊本 H29	すすかび病	多	3,000 0.012	第 3 果房 開花期	散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められ なかった。
トマト	岐阜 H27	すすかび病	多 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められ なかった。
トマト	三重 H27	すすかび病	少 (接種)	4,000 0.009	第 1 花房 開花期	散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められ なかった。
トマト	徳島 H27	すすかび病	中～多 (接種)	4,000 0.009	収穫期 6 ～7 段果房 時	散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められ なかった。
トマト	熊本 H27	すすかび病	多	4,000 0.009	第 3 果房 開花期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。
トマト	大分 H27	すすかび病	少	4,000 0.009	第 1 花房 開花期	散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められ なかった。
トマト	三重 H28	すすかび病	中 (接種)	4,000 0.009	本葉 11 枚 展開期	散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められ なかった。
トマト	熊本 H28	すすかび病	中	4,000 0.009	第一果房 開花期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られたが、その 程度は低かった。	薬害は認められ なかった。

* : 有効成分濃度

⑤ なす

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病及びすすかび病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-7 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（なす、うどんこ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
なす	宮城 H27	うどんこ病	中	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	山梨 H27	うどんこ病	多	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	高知 H27	うどんこ病	中	4,000 0.009	第1花開 花始め	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	宮崎 H27	うどんこ病	中	4,000 0.009	草丈 70～ 80cm 程度	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	宮城 H28	うどんこ病	少	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	高知 H28	うどんこ病	中	4,000 0.009	収穫初期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

表 1-8 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（なす、すすかび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
なす	大阪 H28	すすかび病	中	3,000 0.012	収穫中期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	高知 H28	すすかび病	中 (接種)	3,000 0.012	収穫中期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	高知 H28	すすかび病	中 (接種)	4,000 0.009	収穫中期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	大阪 H27	すすかび病	少	4,000 0.009	収穫中期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
なす	高知 H27	すすかび病	中 (接種)	4,000 0.009	収穫後期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

なす	宮崎 H27	すすかび病	中	4,000 0.009	草丈 140～ 160cm 程 度、収穫 期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。
なす	宮崎 H28	すすかび病	中	4,000 0.009	草丈 120～ 130cm	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
なす	大阪 H29	すすかび病	少 (接種)	4,000 0.009	収穫中期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られたが、その 程度は低かった。	薬害は認められ なかった。

*：有効成分濃度

⑥ ピーマン

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病及び斑点病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-9：ワイルドカードの薬効・薬害試験（ピーマン、うどんこ病）結果概要

作物名	実施 場所 実施 年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
ピーマン	高知 H28	うどんこ病	少	3,000 0.012	生育期～ 収穫期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。
ピーマン	大分 H28	うどんこ病	多	3,000 0.012	収穫期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られなかった。	薬害は認められ なかった。
ピーマン	茨城 H29	うどんこ病	中～多	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
ピーマン	宮崎 H28	うどんこ病	多 (接種)	3,000 0.012	収穫期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。
ピーマン	宮崎 H29	うどんこ病	多 (接種)	3,000 0.012	着果～収 穫期	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
ピーマン	兵庫 H29	うどんこ病	少～中 (接種)	3,000 0.012	収穫期	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
ピーマン	高知 H27	うどんこ病	多	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。
ピーマン	高知 H27	うどんこ病	多	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ピーマン	大分 H27	うどんこ病	少	3,000 0.012	収穫期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	大分 H27	うどんこ病	少	4,000 0.009	収穫期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
ピーマン	宮崎 H27	うどんこ病	中	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

表 1-10 ：ワイルドカードの薬効・薬害試験（ピーマン、斑点病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ピーマン	大分 H27	斑点病	極少 (接種)	3,000 0.012	収穫期	散布	効果の確認はできなかった。	薬害は認められなかった。
ピーマン	大分 H27	斑点病	極少 (接種)	4,000 0.009	収穫期	散布	効果の確認はできなかった。	薬害は認められなかった。
ピーマン	大分 H28	斑点病	少 (接種)	3,000 0.012	収穫期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	大分 H28	斑点病	少 (接種)	4,000 0.009	収穫期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	高知 H30	斑点病	中 (接種)	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	高知 H30	斑点病	中 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	宮崎 H30	斑点病	中 (接種)	3,000 0.012	収穫期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	宮崎 H30	斑点病	中 (接種)	4,000 0.009	収穫期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	宮崎 H27	斑点病	少 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ピーマン	宮崎 H28	斑点病	少 (接種)	4,000 0.009	収穫期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
ピーマン	大分 H29	斑点病	少 (接種)	4,000 0.009	収穫期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	宮崎 H29	斑点病	多 (接種)	4,000 0.009	着果～収穫期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

⑦ きゅうり

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病及びつる枯病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-11 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（きゅうり、うどんこ病）結果

概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
きゅうり	三重 H29	うどんこ病	中	3,000 0.012	本葉 14 枚 展開期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	徳島 H29	うどんこ病	中	3,000 0.012	本葉 4, 6, 12 葉期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	宮崎 H29	うどんこ病	中	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	山梨 H27	うどんこ病	多	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	三重 H27	うどんこ病	中	4,000 0.009	本葉 3.5 葉 展開中	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	徳島 H27	うどんこ病	多	4,000 0.009	本葉 4.5, 7 ～9, 13～ 20 葉期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	宮崎 H27	うどんこ病	中	4,000 0.009	草丈 150～ 160cm 程 度	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	福島 H28	うどんこ病	甚	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H28	うどんこ病	多	4,000 0.009	開花期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	熊本 H27	うどんこ病	少	4,000 0.009	収穫期(11 ～14 葉目)	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

表 1-12 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（きゅうり、つる枯病）結果概

要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
きゅうり	茨城 H29	つる枯病	少 (接種)	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	宮崎 H29	つる枯病	中 (接種)	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H29	つる枯病	少	3,000 0.012	芯止め後	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H29	つる枯病	少	4,000 0.009	芯止め後	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H27	つる枯病	中 (接種)	4,000 0.009	摘芯、草丈 160cm	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H28	つる枯病	中	4,000 0.009	芯止め後	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	宮崎 H28	つる枯病	中 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	徳島 H30	つる枯病	少 (接種)	4,000 0.009	本葉 20 葉期、収穫始期、収穫期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	宮崎 H29	つる枯病	中 (接種)	4,000 0.009	草丈約 130cm、収穫期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	宮崎 H30	つる枯病	少	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

⑧ メロン

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病及びつる枯病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-13 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（メロン、うどんこ病）結果概

要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
メロン	北海道 H29	うどんこ病	甚	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	静岡 H29	うどんこ病	少	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	宮崎 H29	うどんこ病	甚	3,000 0.012	草丈 50～ 60cm(6～7 葉展開)	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	新潟 H27	うどんこ病	極少 (接種)	4,000 0.009	初回散布 時本葉 7～ 10 葉展開 期	散布	効果の確認はできなかった。	薬害は認められなかった。
メロン	茨城 H27	うどんこ病	中	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	高知 H27	うどんこ病	甚	4,000 0.009	5/8:12～15 葉期、 5/22:22～ 25 葉期(摘 芯時期)	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	宮崎 H27	うどんこ病	中	4,000 0.009	草丈約 180cm(摘 芯後)	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	北海道 H28	うどんこ病	甚	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	静岡 H28	うどんこ病	多	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	宮崎 H28	うどんこ病	中 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

* : 有効成分濃度

表 1-14 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（メロン、つる枯病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
メロン	山形 H28	つる枯病	中	3,000 0.012	果実肥大 期	散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められ なかった。
メロン	静岡 H28	つる枯病	少 (接種)	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。
メロン	高知 H28	つる枯病	少	3,000 0.012	15～16 葉 期～芯止 め後	散布	無処理区と比較 して効果が認め られたが、その 程度は低かった。	薬害は認められ なかった。
メロン	宮崎 H28	つる枯病	中 (接種)	3,000 0.012	草丈 60～ 80cm 程度	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。
メロン	山形 H27	つる枯病	多	3,000 0.012	果実肥大 期	散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められ なかった。
メロン	山形 H27	つる枯病	多	4,000 0.009	果実肥大 期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られたが、その 程度は低かった。	薬害は認められ なかった。
メロン	高知 H27	つる枯病	多 (接種)	3,000 0.012	交配期～ 果実肥大 期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られたが、その 程度は低かった。	薬害は認められ なかった。
メロン	高知 H27	つる枯病	多 (接種)	4,000 0.009	交配期～ 果実肥大 期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られたが、その 程度は低かった。	薬害は認められ なかった。
メロン	静岡 H27	つる枯病	中 (接種)	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。

* : 有効成分濃度

⑨ すいか

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病及びつる枯病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-15 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（すいか、うどんこ病）結果概要

要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
すいか	北海道 H29	うどんこ病	少 (接種)	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	鳥取 H29	うどんこ病	多	3,000 0.012	交配終了直後	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	宮崎 H29	うどんこ病	中 (接種)	3,000 0.012	草丈 120～130cm	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	茨城 H27	うどんこ病	多	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	大阪 H27	うどんこ病	多 (接種)	4,000 0.009	約 100 葉期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	鳥取 H27	うどんこ病	少	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	東京 H27	うどんこ病	少	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	大阪 H28	うどんこ病	甚	4,000 0.009	本葉 20 葉期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	鳥取 H28	うどんこ病	中	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

* : 有効成分濃度

表 1-16 : ワイルドカードの薬効・薬害試験（すいか、つる枯病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
すいか	石川 H28	つる枯病	少	3,000 0.012	着果期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
すいか	山形 H29	つる枯病	少	3,000 0.012	果実肥大期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

すいか	茨城 H29	つる枯病	少 (接種)	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	高知 H29	つる枯病	中	3,000 0.012	芯止め期、約 20 葉期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	山形 H30	つる枯病	少	3,000 0.012	開花期～果実肥大期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	鳥取 H28	つる枯病	少	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	鳥取 H28	つる枯病	少	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	鳥取 H27	つる枯病	少	4,000 0.009	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

⑩ いちご

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病及び炭疽病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-17：ワイルドカードの薬効・薬害試験（いちご、うどんこ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
いちご	徳島 H29	うどんこ病	多 (接種)	3,000 0.012	収穫後期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	香川 H29	うどんこ病	少	3,000 0.012	収穫期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	福岡 H29	うどんこ病	少 (接種)	3,000 0.012	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	栃木 H27	うどんこ病	少	4,000 0.009	収穫期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	徳島 H27	うどんこ病	多～甚 ～甚(接種)	4,000 0.009	収穫後期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	佐賀 H27	うどんこ病	多 (接種)	4,000 0.009	本圃後期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	長崎 H27	うどんこ病	多 (接種)	4,000 0.009	本圃後期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

いちご	福島 H28	うどんこ病	少 (接種)	4,000 0.009	生育後期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	香川 H28	うどんこ病	中～多	4,000 0.009	収穫期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	福岡 H28	うどんこ病	中 (接種)	4,000 0.009	草高 10cm	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度

表 1-18 ：ワイルドカードの薬効・薬害試験（いちご、炭疽病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
いちご	静岡 H28	炭疽病	多 (接種)	3,000 0.012	育苗期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
いちご	岐阜 H28	炭疽病	多 (接種)	3,000 0.012	葉数 3～4 枚	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	奈良 H28	炭疽病	多 (接種)	3,000 0.012	育苗、2～ 3 葉期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
いちご	香川 H28	炭疽病	多 (接種)	3,000 0.012	育苗後期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	岐阜 H29	炭疽病	甚 (接種)	3,000 0.012	育苗後期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	香川 H27	炭疽病	甚 (接種)	3,000 0.012	育苗中期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	香川 H27	炭疽病	甚 (接種)	4,000 0.009	育苗中期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	福岡 H27	炭疽病	多 (接種)	3,000 0.012	草高 10cm(3～ 3.5 複葉)	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
いちご	福岡 H27	炭疽病	多 (接種)	4,000 0.009	草高 10cm(3～ 3.5 複葉)	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
いちご	徳島 H27	炭疽病	多 (接種)	4,000 0.009	育苗後期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

いちご	徳島 H28	炭疽病	多 (接種)	4,000 0.009	育苗後期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られなかった。	薬害は認められ なかった。
いちご	香川 H29	炭疽病	中 (接種)	4,000 0.009	育苗後期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。

*：有効成分濃度

⑪ 花き類・観葉植物（ばら、バーベナ、ペチュニア）

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

花き類・観葉植物のうどんこ病に対する効果については、ばら、バーベナ及びペチュニアの試験で評価した。

表 1-19：ワイルドカードの薬効・薬害試験（花き類・観葉植物、うどんこ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度* (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ばら	千葉 H29	うどんこ病	甚	3,000 0.012	茎葉伸長 始期	散布	無処理区と比較 して十分な効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
ばら	千葉 H29	うどんこ病	甚	4,000 0.009	茎葉伸長 始期	散布	無処理区と比較 して効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
ばら	宮崎 H29	うどんこ病	中	3,000 0.012	開花期、 草丈 15～ 20cm 程度	散布	無処理区と比較 して効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
ばら	宮崎 H29	うどんこ病	中	4,000 0.009	開花期、 草丈 15～ 20cm 程度	散布	無処理区と比較 して効果が認められたが、その 程度は低かった。	薬害は認められ なかった。
バーベナ	茨城 H29	うどんこ病	多 (接種)	3,000 0.012	開花始め	散布	無処理区と比較 して十分な効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
バーベナ	茨城 H29	うどんこ病	多 (接種)	4,000 0.009	開花始め	散布	無処理区と比較 して十分な効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
バーベナ	宮崎 H29	うどんこ病	中 (接種)	3,000 0.012	生育期(草 丈 15cm)	散布	無処理区と比較 して十分な効果が認められた。	薬害は認められ なかった。

バーベナ	宮崎 H29	うどんこ病	中 (接種)	4,000 0.009	生育期(草 丈 15cm)	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
ペチュニア	茨城 H29	うどんこ病	甚 (接種)	3,000 0.012	開花期	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
ペチュニア	茨城 H29	うどんこ病	甚 (接種)	4,000 0.009	開花期	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
ペチュニア	宮崎 H29	うどんこ病	少 (接種)	3,000 0.012	生育期(草 丈 10cm)	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
ペチュニア	宮崎 H29	うどんこ病	少 (接種)	4,000 0.009	生育期(草 丈 10cm)	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。

*：有効成分濃度

(3) 薬害

① 対象作物

表 1-1 から表 1-19 に示した薬効・薬害試験において、薬害は認められなかった。

これらの薬効・薬害試験とは別に、ワイルドカードを用いて実施した限界薬量（倍量）薬害試験の結果概要を表 1-20 に示す。試験の結果、バーベナ及びペチュニアの花弁に薬害が認められた。小麦、大麦、だいず、てんさい、トマト、ピーマン、なす、きゅうり、すいか、メロン、いちご及びばらに対して薬害は認められなかった。

以上の結果から、花き類・観葉植物に関する使用上の注意事項が必要と判断した。その他の申請作物に対する薬害については問題ないと判断した。

表 1-20 ：ワイルドカードを用いた薬害試験結果概要

作物名	試験 場所 実施 年度	試験条件				結果
		希釈 倍数 (倍)	処理 濃度* (kg ai/hL)	処理時期	使用 方法	
小麦	兵庫 H29	1000 2000	0.035 0.018	生育初期 (4～4.5 葉期、草丈 9～10cm)	散布	薬害は認められなかった。
小麦	福島 H30	1000 2000	0.035 0.018	3 葉期	散布	薬害は認められなかった。

大麦	兵庫 H30	1000 2000	0.035 0.018	4～6 葉期、 草丈 23～27cm	散布	葉害は認められなかった。
大麦	福島 H30	1000 2000	0.035 0.018	2 葉期	散布	葉害は認められなかった。
だいず	兵庫 H29	1500 3000	0.023 0.012	生育期 (20 葉期以上、草丈 65～85cm)	散布	葉害は認められなかった。
だいず	福島 H29	1500 3000	0.023 0.012	結莢期	散布	葉害は認められなかった。
てんさい	福島 H29	1000 2000	0.035 0.018	10 葉期	散布	葉害は認められなかった。
てんさい	山梨 H29	1000 2000	0.035 0.018	6 葉期	散布	葉害は認められなかった。
トマト	兵庫 H29	1500 3000	0.023 0.012	10 葉期以上、 草丈 110～130cm	散布	葉害は認められなかった。
トマト	福島 H29	1500 3000	0.023 0.012	幼果期	散布	葉害は認められなかった。
なす	兵庫 H29	1500 3000	0.023 0.012	果実肥大期 (10 葉期以上、草丈 60～85cm)	散布	葉害は認められなかった。
なす	福島 H29	1500 3000	0.023 0.012	収穫期	散布	葉害は認められなかった。
ピーマン	兵庫 H29	1500 3000	0.023 0.012	果実肥大期 (10 葉期以上、草丈 60～75cm)	散布	葉害は認められなかった。
ピーマン	福島 H29	1500 3000	0.023 0.012	収穫期	散布	葉害は認められなかった。
きゅうり	兵庫 H29	1500 3000	0.023 0.012	果実肥大期(20～25 葉期、草丈 80 ～120cm)	散布	葉害は認められなかった。
きゅうり	福島 H29	1500 3000	0.023 0.012	収穫期	散布	葉害は認められなかった。
メロン	兵庫 H29	1500 3000	0.023 0.012	幼果肥大期(16～17 葉期、草丈 175～180cm、果実直径 1～7cm)	散布	葉害は認められなかった。
メロン	福島 H29	1500 3000	0.023 0.012	幼果期	散布	葉害は認められなかった。
すいか	兵庫 H29	1500 3000	0.023 0.012	幼果期 (20 葉期以上、草丈 120～150cm)	散布	葉害は認められなかった。
すいか	福島 H29	1500 3000	0.023 0.012	幼果期	散布	葉害は認められなかった。

いちご	兵庫 H29	1500	0.023	生育期 (20～25 葉期、草丈 25～30cm)	散布	薬害は認められなかった。
		3000	0.012			
いちご	福島 H29	1500	0.023	収穫期	散布	薬害は認められなかった。
		3000	0.012			
ばら	兵庫 H29	1500	0.023	着蕾～開花期 (20 葉期以上、草丈 60～80cm)	散布	薬害は認められなかった。
		3000	0.012			
ばら	福島 H29	1500	0.023	開花期	散布	薬害は認められなかった。
		3000	0.012			
バーベナ	兵庫 H29	1500	0.023	着蕾～開花期(10 葉期以上、草丈 8～12cm、蕾数 5 以上/株)	散布	薬害は認められなかった。
		3000	0.012			
バーベナ	福島 H29	1500	0.023	開花期	散布	1500 倍(倍量)において花卉 にわずかに白色斑点が発生 したが、開花前に散布す れば実用上問題ない。
		3000	0.012			
ペチュニア	兵庫 H29	1500	0.023	着蕾～開花期(10 葉期以上、草丈 5～10cm、蕾数 5 以上/株)	散布	薬害は認められなかった。
		3000	0.012			
ペチュニア	福島 H29	1500	0.023	開花期	散布	1500 倍(倍量)、3000 倍(通常 量)において花卉にわずかに 白色斑点が発生したが、 開花前に散布すれば実用 上問題ない。
		3000	0.012			

② 対象作物以外の作物

ワイルドカードを用いて、キャベツについて実施した薬害試験の結果を表 1-21 に示す。試験の結果、薬害は認められなかった。

また、本剤の適用作物に対する薬害試験の結果、7 科 14 作物について、実用上問題となる薬害は認められなかった。以上から周辺作物に対する薬害及び後作物に対する薬害については、(1)の使用方で使用する場合においては問題ないと判断した。

表 1-21 : ワイルドカードの薬害試験結果概要 (キャベツ)

作物名		試験条件	結果
-----	--	------	----

	試験 場所 実施 年度	希釈 倍数 (倍)	処理 濃度* (kg ai/hL)	処理時期	使用 方法	
キャベツ	茨城 H30	2,000	0.018	4～4.5 葉期	散布	薬害は認められなかった。
キャベツ	兵庫 H30	2,000	0.018	4～4.5 葉期	散布	薬害は認められなかった。

*：有効成分濃度